

## 10周年記念演奏会「飛躍天翔」

### 那須小川まほろば太鼓

那須小川まほろば太鼓が発足して10年になるのを記念する演奏会「飛躍天翔」が7月8日、あじさいホールで開催されました。

演奏会で星副会主は「那須小川まほろば太鼓が郷土に根付く伝統芸能として10年、20年と続けていければ」とあいさつ。まほろば子ども太鼓の演奏する「翔け未来へ」など全9曲を披露。力強い佇さばきで350人の観客を魅了しました。

フィナーレは、お祝いに駆けつけた馬頭祝太鼓や秋田県菖蒲太鼓と合同演奏し、観客と一体となった場内は太鼓のリズムで盛り上がりました。



## 百歳を迎えた大金アサさんに

### 祝い金と花束を贈呈

6月28日に百歳を迎えた大金アサさん（高岡）を川崎町長が訪問。祝い金と花束が贈られました。

アサさんは耳が少し不自由なだけで、体はいたって健康そのもの。昨年7月から約2カ月間、足を骨折し入院しただけで、今まで病気をしたことがないそうです。長生きの秘訣をお伺いしたところ、「畑で作った野菜を中心に、好き嫌いなく、何でも食べる」と話していました。また、現在は「週に1回のデイサービスで友だちと会うのが楽しみです」と話していました。



## 瓦の拓本を模様

### うちわづくり

### なす風土記の丘資料館

那須地方に伝えられた渡来文化を理解してもらおうと栃木県立なす風土記の丘資料館では、「那須の発掘物語」なすの渡来文化」と題する企画展を開催。7月1日のオープニングイベントとして、奈良時代に中国から伝わったとされるうちわ作りを行いました。

参加者は竹を組み、那須官衙跡から発掘された瓦で和紙に拓本するなど、細かい作業を真剣に取り組みました。



## 第56回塩那少年野球大会

56回を迎えた小川小同窓会とPTA主催による塩那少年野球大会が7月15日、16日の2日間、小川小学校と小川運動場を会場に開催されました。

開会式では、大会会長や来賓祝辞のあいさつ後、上の台那珂チームの佐藤真也主将が力強く選手宣誓をしました。その後、練習を積み重ねた16チームの熱戦が展開されました。結果は次のとおりです。

- ▼優勝 上の台那珂
- ▼準優勝 南ヶ丘JBC
- ▼三位 鳥山クラブ
- ▼三位 馬頭クラブ





**地震は怖い！  
馬頭西小学校で起震車体験**

6月30日、馬頭西小学校で避難訓練とあわせて、起震車体験が行われました。校舎内に火災発生を知らせる放送が流れると児童たちは、ハンカチなどで口を押さえながら校舎の外へ飛び出しました。

講評で消防職員から「災害はいつでも起こるかわかりません。もしものときは、今日の訓練を生かしてください」と話がありました。その後行われた起震車体験で児童たちは、「揺れが強くて怖かった。家で起きた時は、立つこともできないかもしれない」と話していました。



**「大きな花を見たい」  
谷川小学校児童による菊の苗植え**

7月6日、雨がぱらつく中、谷川小学校で全校児童による菊の苗植えが行われました。この菊の苗は、毎年地元の菊愛好者である斉藤さんから児童へ贈られているものです。

児童たちは、それぞれ鉢に土を入れたり、苗を植えたりして最後に名前の書いたプレートを差して教室の前にきれいに並べ、水をあげていました。最後に「秋には大輪の菊の花を咲かせてください」と斉藤さんから子どもたちへメッセージが送られました。



**武茂小ミニオリンピック  
が開かれました**

7月7日、武茂小学校体育館で「武茂小ミニオリンピック」が開催されました。競技は、個人戦と団体戦があり、最初の個人戦は「ひらひらパー」「紙ヒコーキとぼし」「豆つかみうつし」など5種目が行われました。

「豆つかみうつし」の競技では上手に箸を使って20粒以上の大豆を移す児童には、周りから大きな拍手が起こっていました。今行われたミニオリンピックでは、高記録が生まれるたびに、体育館の中は児童たちの声援や笑い声が響いていました。



**「命について考えてみる」  
思春期講座が行われました**

7月12日、馬頭中学校PTAと町図書館共催による思春期講座が馬頭中学校で行われました。

今回は、講師に児童ノンフィクション作家の今西乃子氏を迎えて「命について考えてみる」と題して講演されました。

一度は人に捨てられた犬たちと過ちを犯した少年たちが、再び社会と人間への信頼を回復させていく話、そして流れる汗を拭きながら話す今西さんの話に、会場に集まった生徒と保護者は熱心に耳を傾けていました。